４つの森林活動

みなさまの参加を
お待ちしております

小手澤の森

第１・３日曜日

知足の森

第１・３日曜日

相模湖・嵐山の森
小原本陣の森
不定期活動

News Letter

NPO法人緑のダム北相模
midorinodam.jp

No.582-583
知足の森の植生調査を実施しました

【定例活動報告】参加者の感想から

緑のダム北相模は相模原市内で活動する森林ボランティアです。急がず、無理せず、楽しく、休まず、 ボチボチと・・。

　緑のダム北相模の皆様との出会いは、損保ジャパン環境財団の仕事をさせて頂いていた2000年頃だったと思います。以降、20年の年月が経ち、本年3月19日の定例活動において久しぶりに、宮村副代表はじめ緑のダム北相模の皆様にお会いしました。何事も継続はとても難しいものにかかわらず、活動はさらに活発化され、当時、大学院生だった宮村副代表は、中学校教員になられて生徒の皆さんに森を整備する楽しさ・大変さ・その意味などを伝え続けておられる様子を拝見し、とても感慨深く、心から感動しました。帰り際に、私と同じぐらい生きたであろう檜の丸太をお土産に頂き、今もまだ良い香りに包まれています。緑のダム北相模の皆様のように活

き活きと活動し、確実に森づくりを進めておられる姿を見本に、私も森と人とのより良い関係づくりに努める次の20年を夢想しています。改めて皆様に心からの敬意を表させていただきます。

山中　千花（トヨタ自動車）

【定例活動報告】知足の森

　今日は午後に竹林の整備をしました。
はじめ竹林に入ったときは密集して生えていて、中はとても暗く、寒かったです。
竹は簡単に倒すことができますが、枝払いをするため時間がかかります。ただ、今回はチッパーという機械を使ったため、効率的に行うことができました。
何十本とあった竹を友達と協力しながら切りました。竹を倒すごとに、少しずつ光が差し込みはじめます。光に当たった小さな芽を見ると、その芽が今後大きくなっていくのかもしれないなと思い嬉しくなりました。
　元々荒れていた場所が開けていき達成感がありました。さらに、その奥に満開の桜を少し見ることができたのでさらに奥も整備していきたいなと思いました。他のチームも次々と竹を倒していき活動後にははじめと比べて辺りが明るく、暖かくなりました。
私達は竹を切って整備をすることはありますが、木のように制作はしていません。木と比べて汎用性が低いかもしれませんがたくさん切った竹を何かに活用できたらいいなと思いました。

GREEN TECH ENGINEER LAB　中学３年生女子

　今日の午前は森の中に20m×20mの正方形をとり、その中にどのような種類の植物が生息しているのかを調べる植生調査をしました。
　私たちが普段作業している森には高木層と低木層、林床の植物がありました。高木層はスギとヒノキが生息しており、始めはスギとヒノキの見分け方も分かりませんでしたが、教わって自分たちでヒノキが優勢だと判断できたときは嬉しかったです。普段私たちが間伐しているのは高木層に当たる木ですが、このような機会がなければ自分たちが切っている木の種類や分類を気にすることはなかったかもしれません。
　また、林床植物の調査では、草やシダ、ササ、スギ・ヒノキの子どもが多く見つかりました。草には色々な種類があり、優勢の植物を決めるのが難しかったです。特にツルマサキとテイカカズラを見分けるのには苦戦しました。調査の途中、シカのフンを見つけられたのも面白かったです。そのときには白臼さんからシカの好む植物や食べられない植物、先程のツルマサキにも毒があることについてなどを実物や図鑑を見ながら教えていただくことができ、楽しかったです。

GREEN TECH ENGINEER LAB　中学３年生女子

桜井尚武の森のコラム　「スイカズラ (*Lonicera japonica*)」

図1　スイカズラ

20220510ドナウ通南千住

図2　切れ込みのある幼葉

20230409 Pulgas Ridge Open Space Preserve, SF

図3　厚い葉

20230226三浦富士

図4　金銀花

20110513新林公園藤沢

図5　果実

20221106青梅丘陵

図6　日本のスイカズラに注意の表示板

20120712 Yale Univ. Museum

スイカズラ科の落葉あるいは半常緑の木性蔓植物（藤本）で日本各地の山野に広く見られ、朝鮮半島、中国にも分布します。葉は対生し鋸歯はありませんが幼生時や展開初期のものは切れ込むひだを生ずるものがあります（図1、2）。また、展開後期や海岸近く、風衝地などでは厚く革質な葉となるものもあり見分けるのに戸惑うような多様な形が見られます（図3）。

花は2個づつ対で葉腋に着きます。5~6月頃に咲き最初は白色で時間がたつと黄色（黄金色）になるので縁起を担いで金銀花ともいいます（図4）。香りがよく、花の基部に蜜があり、子供達がこの蜜を吸って遊んだり楽しんだりするので吸い葛の名が生まれたといいます。果実は球形で秋に黒く熟します（図5）。

繁殖力が強く、色々なものに絡んで旺盛に伸びるので丈の低い植生は覆いかぶさられて枯れてしまうこともしばしばです。北米に観賞植物として持ち込まれたものがその後帰化植物として旺盛に繁茂するようになったので、今ではクズ(Pueraria lobata)と共に駆除し切れない迷惑侵入植生として注意喚起されているそうです。2012年にコネチカット州のエール(Yale)大学の博物館に行った際、この日本から来た植物に注意の表示板を見ましたた(図6)。今回サンフランシスコ郊外の山林を歩きましたら至る所でスイカズラを見ました。

日本でも北米でも厄介者扱いの植物ですが、実は漢方薬に使われ、山菜としても有用な植物です。ネットで検索すると多数の有用な使い道が解ります。もっと利用して欲しいとこの稿の資料を集めてみて思いました。

（桜井尚武　本会会員）

【活動報告】 アリオ橋本で「３００００このつみき」ワークショップを実施しました

３月末から４月にかけまして、アリオ橋本にて積み木のワークショップ、「積み木でつくろう相模原 ～間伐材でつくるみんなの街」を実施しました。今回は、長机を街に見立てて、参加者ごとに区画を設定、一定数の積み木で自分が住んでみたい家などを作っていくワークショップです。２日間で40枠設定し、事前にネットで参加者を募りましたが、当日も参加希望の方が殺到し、倍の区画を設定し、多くの親子の方が積み木で町を作っていました。相模原に多くある森林について、橋本などの市街地の方はなかなか触れることがないかもしれませんがこれを機に同じ市内に多くの森やその木材活用の可能性があることを感じてもらえたのではないかと思います。

宮村　連理（本会、副理事長）

NPO法人
緑のダム北相模

名称：特定非営利活動法人　緑のダム北相模
現地事務局：〒252-0172　相模原市緑区与瀬本町12　かどや食堂内
支援団体：セブン-イレブン記念財団
積水ハウスマッチングプログラム、国土緑化推進機構
パタゴニア
協働団体：神奈川県、相模原市、麻布大学、マルモ出版、
東京学芸大学環境教育研究センター、
（社）東京学芸大EXPLAYGROUND推進機構、
（社）さがみ湖 森・モノづくり研究所

参加にあたって：

初参加者は、9時15分までにJR相模湖駅前に集合です。服装、持ち物については、汚れても良い服装、着替え、滑らない靴　成るべく皮製手袋、万一の怪我に備えて保険証、飲料水、主食、昼食

危機管理・救急対応：

危険管理・救急体制・森林ボランテイア保険の準備の他、会として可能な限りの体制を敷いていますが「怪我・事故は、自己責任」です。

緑の募金　一般財団法人 セブン-イレブン 記念財団　SEKISUI HOUSE MATCHING PROGRAM　patagonia